

大竹利信（公明党）

災害時要援護者の避難対策は

西尾市では災害発生直後に、一般の避難生活が困難な高齢者や障害者等の要援護者を学校等の避難所を経由せず直接福祉施設で受け入れできる福祉避難所の開設に向け体制作りを進めている。本市の状況は。

**答** 蒲郡市では、まず指定された必要に応じて災害対策本部が選定した福祉避難所に避難していたところに移ることになっている。災害時の混乱の中で直接受け入れは難しいと考えるが、西尾市を参考に福祉施設と協議していきたい。

認知症の予防について

認知症早期発見のため「物忘れ相談プログラム」を導入してはどうか。

このプログラムは簡単に短時間で診断が可能という認識はしている。導

市民の足確保に工夫をしている。必要に応じていろいろな方法を組み合わせるべきと考えるが市の考えは。

本市とは規模が異なるが、地域に合わせてさまざまな運行方式を採用している点は参考にしていただきたい。金額設定についてはいろいろな方式があると考えるので地域公共交通会議で多角的な検討をしたい。

**答** 市は走らせるかの検討ではなく、どう走らせたら市民が喜ぶか検討すべきと考えるがどうか。

**答** 地域公共交通会議で充分検討し、計画策定さ

入については今後の状況や効果の検証、導入費用等からも検討していきたい。

巡回バスなど

市民の足の確保は

文教委員会で視察した秋田市では、68歳以上の市民が百円で乗車できる高齢者コインバス事業に加え、誰でも百円で利用できる中心市街地循環バス、路線バス、中心部から離れた地域にマイタウンバス、ジャンボタクシー、予約制乗り合いタクシー等を走らせ



秋田市のマイタウンバス

れるので、市民に喜んでもらえると考えている。

稻吉郭哲（自由クラブ）

太陽光発電普及の検討について

公共施設の太陽光発電システム設置の予定は、公共施設の新設や建て替え時に可能な限り設置する予定である。

**答** 太陽光発電システム設置を希望する市民全員に予算を増額する考えは。

**答** 25年度の申請状況を見て、26年度の予算要求をしていきたい。

春日浦の住宅地と事業用地について

住宅地の販売促進について伺う。

**答** 西三河でポスティングチラシ配布他、市職員が企業回りをする際にPRポスターの掲示等を、お願いしていく。販売促進を図るために、不動産業者と協定を結ぶ手続きも進めている。

**問** 蒲郡市長と西尾市長で県知事に、支援要望をしていたが、今後、県の補助金がなくなつた場合は、市はどうにしていく考えか。

名鉄西尾・蒲郡線の存続支援について

蒲郡市長と西尾市長で



形原町春日浦の住宅地